



Tokyu Agency Inc.

株式会社 東急エージェンシー

〒107-8417 東京都港区赤坂 4-8-18

TEL 03-3475-9382 FAX 03-3475-9419

2018年6月26日
(30-13)

NEWS RELEASE

感情認識AIを用いた動画評価Web調査サービス 「Emotion Capture」を開発、販売開始

株式会社東急エージェンシー(本社：東京都港区 代表取締役 社長執行役員：澁谷尚幸)は、株式会社マーケティングアプリケーションズ(本社：東京都新宿区 代表取締役：萩野郁夫)と共同で、感情認識AI技術を用いて動画視聴時の表情からその動画によって起こる感情を分析する表情解析Web調査サービス「Emotion Capture」(エモーション・キャプチャー)*を開発、販売を開始しましたのでお知らせいたします。

*登録商標出願中

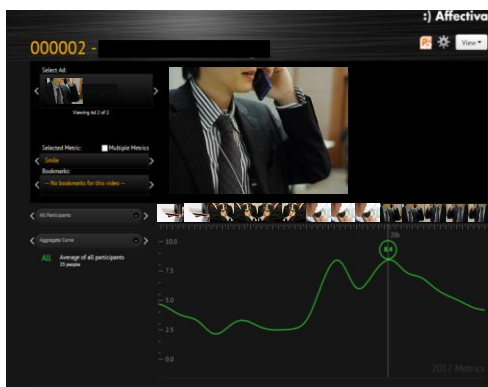
「Emotion Capture」はPCやスマートフォンのWebカメラを使用して、動画視聴時の消費者の顔のランドマーク(鼻の頭、目尻、口など)の動きを測定し、FACS理論**に基づいて感情の動きを解析するWeb調査サービスです。(Web調査での導入は日本初)

米国Affectiva社のソフトウェアを採用し、10分以内の動画視聴時の表情と感情の動きを解析できます。また同時にWebアンケートを実施することで、属性やアンケートの回答ごとの動きをクロス集計できます。

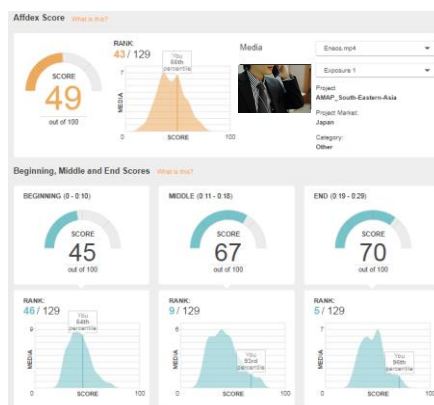
** Facial Action Coding System (顔面動作符号化システム)。視認可能な顔の動きを包括的に測定するために Paul Ekmanらにより、1978年に開発された分析ツールかつ表情理論。

【Emotion Capture とは】

- 動画視聴中のどのシーンで表情や感情が動いたのかが分かる。
- 21の表情、7つの感情、2つの表情指標を解析。
- 他の動画とランキング形式やスコア一覧で比較ができる。



(表情・感情の起伏を示すダッシュボード)



(全体スコアのランキング)

Summary Metrics: 000002 -

		percentage	88.0% (±2.6%)	73.1% (±2.6%)
Project Market: Japan Project Type: Online Norms calculated from 313 ads.				
<input checked="" type="checkbox"/> Show Norms <input type="checkbox"/> Show All Metrics <input type="button" value="Expand All"/> <input type="button" value="Collapse All"/>				
Total Expressive		percentage	88.0% (±2.6%)	73.1% (±2.6%)
Valence	mean		1.5 (±2.2)	-2.2 (±2.2)
	variability		2.1 (±.5)	1.5 (±.5)
Expressiveness	mean		6.4 (±.2)	3.5 (±.2)
	variability		3.7 (±.4)	1.8 (±.4)
Attention	mean		89.2 (±9.3)	90.1 (±9.3)
	variability		1.5 (±.0)	1.9 (±.0)
Brow Furrow	mean		1.8 (±.8)	2.4 (±.8)
	variability		1.0 (±.0)	0.7 (±.0)
Brow Raise	mean		1.0 (±.3)	0.9 (±.3)
	variability		0.5 (±.1)	0.7 (±.1)

(各指数スコアの一覧)

※画像はイメージサンプル

この件に関するお問い合わせ先
株式会社 東急エージェンシー
コーポレート本部 経営企画局 秘書・広報部 高橋、平松
TEL 03-3475-9382

www.tokyu-agc.co.jp

「Emotion Capture」概要

■調査方法

- ・パソコンやタブレット、スマートフォンのWebカメラを利用して、動画視聴時の表情を撮影。
- ・撮影された表情動画から、AIによって感情を分析。
- ・意識調査を追加することで、回答者の属性や回答内容別の集計も可能。

■分析

- ・目、眉、顎などの動きから、Attention、Eye Widen など21の表情を測定し、7つの感情（喜び、悲しみ、驚き、怒り、恐怖、嫌悪、軽蔑）、肯定/否定の尺度、表情の豊かさの指標を分析。
- ・これらのスコアの時系列変化を表示。

分析には米国Affectiva社のAffdex for Market Research***採用

***日本での正規販売代理店は株式会社シーエーシー <http://www.cac.co.jp/>

Affectiva社 <https://affectiva.jp/>

- マサチューセッツ工科大学(MIT) で10年間かけて研究され、2009年に米国マサチューセッツ州で設立。
- 顔画像分析等による感情認識を行うプラットフォームの開発を行う会社。
- エモーションAI市場のリーディングカンパニーで、ディープラーニング技術を用いたエモーションAIプラットフォームを提供。
- 世界最大の感情データリポジトリ: 87カ国、650万人を保有。
- メディア・広告市場・ゲーム市場で利用されており、1,400以上のブランドで、消費者の感情テストに利用される。

■調査協力会社

株式会社マーケティングアプリケーションズ <https://mkt-apps.com/>

設立年月 : 2006年9月

所在地 : 東京都新宿区新宿1-28-11 KOSUGIビル7階

代表取締役: 萩野郁夫

提供サービス:

マーケティングリサーチのクラウドサービス「Marketing Applications」をはじめとした、マーケティングのデータドリブン化実現のためのサービスを提供。本サービスのアンケートプラットフォームの提供およびAffectiva社サービスとのシステム間の連携の構築を行う。

「Emotion Capture」の特長

■理論基盤・ソフトウェアがしっかりしている

確立されたFACS理論に基づき、多くの利用実績のあるAffectiva社ソフトウェアを採用。

■時間がかからず場所の制限がない

- ・PCやスマートフォンのWebカメラを使用するので、従来の調査会場や専用機材を用いた表情解析調査と比べて短時間に調査の設計が行え、場所の制限もない。
- ・同時に行うネット調査や調査対象者の属性ごとに集計可能なので、ターゲット別の分析ができる。

本件に関するお問い合わせ

株式会社 東急エージェンシー
マーケティングイノベーションセンター
ストラテジックプランニング局 御園生
TEL 03-3475-3538 FAX 050-3737-9147
データマネジメント局 真弓 村上
TEL 03-3475-3525 FAX 050-3737-2720

この件に関するお問い合わせ先

株式会社 東急エージェンシー

コーポレート本部 経営企画局秘書・広報部 高橋、平松

TEL 03-3475-9382

www.tokyu-agc.co.jp